

生徒の言葉に拾う



校長 三輪 秀文

先日、「校長先生、四中のホームペ、見ました！」と、わざわざ校長室に報告に来てくれた生徒がいました。「ホームペ？」とは思ったものの、その生徒の言葉に耳を傾けていると、ホームページのことであることがわかってきました。最近、ホームページのことを、縮めて「ホームペ」と呼ぶらしいのです。認識を新たにするとともに、ジェネレーション・ギャップを感じざるを得ませんでした。そういえば、デジカメやエアコンも横文字の短縮形であることを思うと、決して不思議なことではないのかもしれない。

いつだったか、ユニホーム姿の生徒に「お似合いのペアルックやね！」といったら、「ペアルック？ オソロっていうんやで」と笑われたこともあります。また、「昼休みに、オニゴしてた！」との生徒の言葉に疑問を感じ、若い先生に尋ねたこともあります。やはり若者文化の潮流なのでしょう。“おそろい”“おにごっこ”という日本語まで、三文字にしてしまうようです。「ホームペ」や「オソロ」「オニゴ」という三文字短縮の響きに、どこことなく年齢を感じてしまうのは、私だけなのでしょうか。しかしながら、こうした世代を超えた言葉のギャップにとまどう反面、このあたりの話題をきっかけに、子どもたちの言葉の力を育てていくことの大切さも感じます。

ところで、本年度、地域とのつながりが少しでも深くなることを願って、本校の教育活動や学校情報を、ホームページで積極的に発信するようにしています。ゴールデンウィーク前後のアクセス数はそれほどでもなかったのですが、最近では、ほぼ毎日のように、更新しているせいか、かなりの方に本校のホームページをご覧いただいているようです。

それに、中学校の悩みの一つでもあるのですが、学校からご家庭向けに配布するプリント類が、なかなか保護者の手に渡らない現状もあります。苦肉の策のひとつではありますが、全校にかかわるものは、できるだけホームページで配信するようにしています。もしお時間が許すなら、本校の“ホームペ”をのぞいていただければ幸いです。



正門前の青々とした竹林